

第 1 日 6 月 6 日 (土)

午前の部 (10:00-11:35) (研究発表 30 分 質疑応答 15 分)

研究発表

- ① 吉川 斉 (東京大学大学院) (10:00-10:45)
『修辞学初等教程』 *Progymnasmata* における寓話論について
- ② 佐野光宜 (京都大学非常勤講師) (10:50-11:35)
帝政前期ヒスパニアにおける剣闘士競技

※欧文誌編集委員会 (第 1 講義棟 1 階 103 ゼミ室)

午後の部 (1:00-5:50)

- ③ 高木酉子 (朝日大学非常勤講師) (1:00-1:45)
ピュタゴラス派アルキュタスの音階論
- ④ 保坂高殿 (千葉大学教授) (1:50-2:35)
エウセビオス『コンスタンティヌスの生涯』の真偽性とその編集意図
— 『テオドシウス法典』(CT)第 16 巻との比較から—

シンポジウム「文字の力」 (2:50-5:50)

※懇親会 (6:30-)

マーキュリーホール (東キャンパス、マーキュリータワー7 階)
(会費 5000 円 学部・大学院生 3000 円)

(付記 委員会は 6 月 5 日午後 5 時より、
東キャンパス国際研究館 5 階 ML 会議室にて行います)

第2日 6月7日(日)

午前の部(9:30-11:40)

研究発表

- ⑤ 中川亜希(日本学術振興会特別研究員) (9:30-10:15)

古代ローマ帝国における、皇帝像と地方名望家像
—北イタリアの都市参事会決議に見られる徳を通して—

※総会(10:20-10:50)

- ⑥ 吉沢一也(大阪体育大学非常勤講師) (10:55-11:40)

プラトン『国家』における国家と魂のアナロジー再考

※書評委員会(103、104、105ゼミ室)

午後の部(1:30-4:45)

- ⑦ 渡邊顕彦(カリフォルニア大デイヴィス校助教) (1:30-2:15)

The New Palladas? —パピルス写本 P.CtYBR 4000 について—

- ⑧ 土谷志帆(北海道大学大学院) (2:20-3:05)

アリストテレスの「思慮ある人」における人格的および
認知的卓越性の関連

- ⑨ 長谷川岳男(鎌倉女子大学准教授) (3:10-3:55)

古典期スパルタにおける公と私—ポリス論再考—

- ⑩ 桜井万里子(東京大学名誉教授) (4:00-4:45)

オルフェウスの秘儀とアテナイ
—デルヴェニ・パピルス文書を手掛かりに—

※編集委員会(5:00-7:00)(第1講義棟1階103ゼミ室)